

平成30年度 国際理解ワークショップ 進行シート

作成日：平成30年 7月 31日

大学名： 上越教育大学
 タイトル： あなたのその服黄色信号？！

1：本ワークショップの要旨

身近なモノである「服」を通じて、人の想いや仕事の過程等、物事の裏側に存在する事実を軸に私たちが目に見えていない部分について考える。本ワークショップでは、「服」の裏側から、自分たちの生活が世界と繋がっていることだけでなく、世界の社会問題と繋がっていることに気付くきっかけを作りたい。「なぜ？」という疑問を起点に、様々なアクティビティを通して、価値観、背景を知る。また、本ワークショップによって「世界の不平等」について自分事として捉え、どのように行動・選択するかを考える機会としたい。

2：本ワークショップの目的(目標、実現したいこと)

参加者には、見方や考え方を身近な題材から、世界とのつながりを考え、広い視野や思考力を高めることを目的とする。そのために、日本の現状・世界の現状との違いを知ること、当たり前が当たり前ではないことなどを理解し、思考する判断材料を持たせる。最終的には、アクティビティや議論から身近な題材でも世界とつながることを考え、日常生活での意識や行動につなげたい。

3：本トピックをとりあげる理由

世界の状況は、日々刻々と変化を遂げている。その中で、服は時代の象徴的なニュアンスや経済の影響を受けることが多い。また、服を着るということは、自分らしさや帰属意識など様々な様子を表す。現在の日本の服事情はとても豊であり、潤う一方飽和している状態ともいえる。その原因の要因として、ファストファッションである。ファストファッションは低価格ゆえに、買っては捨て、を繰り返すことに消費者の抵抗は小さい。企業側も、消費欲を刺激するために短いサイクルで新商品を展開する。結果、クローゼットの中には不要な服で溢れる。家庭からゴミとして出される衣料品は年々増加しているという事実もあり、ファストファッションの浸透が環境問題に影響を及ぼしている。環境問題としてインドネシアのジャバ島を流れるチタラム川は、世界でももっとも汚染されている川のひとつとして知られている。チタラム川の上流にある工場の68%が衣服類を生産している繊維工場である。そこから出た工業用水の影響によって環境や健康被害が増えたりしている。また、ファストファッションによってもたらされる問題には人権問題もある。生産工場のある途上国の労働環境も劣悪なことが多い。世界の主要アパレルメーカーは、その定番・低価格・大量販売用製品のほとんどをバングラデシュで生産していると言われる。バングラデシュにとってもこのアパレル産業は国の経済を支える重要な産業になっており、現在はそのGDPの13%、総輸出高の76%がアパレル産業によってカバーされている。世界第2の縫製品輸出大国バングラデシュでは、労働・安全環境の劣悪さがたびたび問題になってきた。2005年にも縫製工場が崩壊し、70人以上が死亡。昨年は工場火災で111人が死亡している。

ふだんから何気なく着ている服が、途上国の環境や貧困問題とつながっていると知って驚く人は少ない。自分がお店で選んだ服の陰に苦しんでいる人がいるかもしれない。その服の裏側を知ることによって自分の意識が変わるかもしれない。また、そこから行動・選択をする1つの機会として、本トピックを設定した。

4：活動過程 (使用時間： 90分 参加人数： 何人でも可)

過程 (所要時間)	活動内容	具体的な発問・ 説明・動きなど	ねらい	使用する 教材・備品	予想される反 応、その他注 意事項
導入：起 (15分)	<p>【アイスブレイク】</p> <ul style="list-style-type: none"> WSメンバーの自己紹介 *どこの国の言語を話したでしょうかゲーム(WSメンバーがそれぞれの言語で自己紹介をする) 活動の流れ、目的の説明 活動するグループの作成(予め割り振られている4人一組のグループを作る。ただし、欠席や配慮すべき生徒がいる際は人数の調整を行う。) <p>【イントロダクション】</p> <ul style="list-style-type: none"> イントロダクションとして世界の不平等や服に関する話をグループで話し合い、考えを全体で共有し、解説を加えていく 	<p>「私たちはどこの国の言語を話したでしょうか。近くの人と相談して考えてみて下さい」</p> <p>「今日の活動は、映画を基に、みなさんがどのようなことを思い・考えるのか、またその感じたことを劇にしてみたいです」</p> <p>「一人一人に役があります。なので、自分の考えをもって行動してくれ」と</p>	<ul style="list-style-type: none"> 身近な物とWSのテーマを関連させ、意外にも近いことが言えることに気づかせ、関心を向けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクター スクリーン(マイク) スピーカー 	<ul style="list-style-type: none"> 不平等ってどんなことあるかな 服を買う基準って何だろう。 みんなどんなことを考えているんだらう。 *生徒の幅広い考えを拾い上げ、肯定的に捉える。

	<p>Q1「あなたが『不平等！』 だと思ふ時」 Q2「あなたが洋服を買う時 の基準」 Q3「今日のテーマから想像 することは」</p>	しいです」			
展開：承 (30分)	<p>【映画The True Costを見る】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費者憲章の「消費者の責任」の切り口から映像をかいつまんで見る。 * (批判的意識、自己主張と行動、社会的関心、環境への自覚、連帯) ・映画を見る際は、個人での考えを膨らませさせたい。共有は、映画終了後にグループで話し合い、考えを全体で共有し、解説を加えていく。 	<p>「映画は実際世界で起こっている現実です。皆さんはどのようなことを思ったのでしょうか。グループで話し合ってみて下さい。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費者の立場から考えることや自分が普段買い物を付けていることは何かを考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・服の現状を理解させ、様々な考えを持たせ、深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・DVD ・プロジェクター ・スクリーン (マイク) 	<ul style="list-style-type: none"> ・悲しい。 ・悔しい。 ・もやもやする ・服の裏側にはこんなことが潜んでいたんだ。 *見やすいところに移動をして見る。
発展： 転 (35分)	<p>【スキット作成と発表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役割分担：一人一役 <p>例) アパレル企業、発展途上国の工場主、工場の労働者 (女性・男性)、綿花農場主)、地元の人々</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・説明を分かりやすくさせるため、スクリーン等を活用する。 ・グループを 	<ul style="list-style-type: none"> ・劇を起点に自分達が考えた思いを表現させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・画用紙、紐 (生徒数) ・プロッキー (班で数本) ・プロジェクター 	<ul style="list-style-type: none"> ・どんなことを考えればいいのかろう。 ・どのように表現すれば

	<ul style="list-style-type: none"> 背景：グローバルなアパレル企業が、世界で販売する製品を作るために、新しい工場をアフリカで作ろうとしています。そこで、企業担当者が工場主や農場主にお願いをしました。 条件： <ul style="list-style-type: none"> (1)ワークシートの指示に従って、ストーリーを続けてください。 (2)ストーリーには必ず、工場の労働者（女性）を登場させてください。 この続きをグループで考えて、ストーリーを作ってみる。 作成したスキットの発表を行う。 	<p>2～3つに分けて、互いに発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 良かったグループorクラスで発表してみたいグループには、代表で発表してもらう。 		<ul style="list-style-type: none"> ・スクリーン（マイク） 	<p>いいのだろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大切なことって何だろう。 *どの意見も肯定的に捉えることを確認する。 *グループの様子を見て必要に応じて問いかけや声かけなどをしていく。 *いろんな意見をサブFTが拾って、メインFTに知らせる。
<p>まとめ：結（10分）</p>	<p>【振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日感じたことを振り返りのワークシートに記入する。「転」で行った劇と関連させても良い。（4分） ・振り返りをペアや全体で共有する。（3分） <p>【まとめ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者の取組の評価と授業者の願いやまとめを述べて終える。（3分） 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人で今日の活動を振り返る。（個人作業なので静かに振り返りを行う） 「最後に、この授業で学んだことや感じたこと、今後に活かしたいことをワークシートに記入してください。時間は4分間です。」 「では、書いたことをもとにペアで伝え合ってください。時間は3分間です。」 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分達が考える理想と現実のギャップを認識させ、今後の行動を考える。 ・この授業振り返り、学んだことや感じたことと、今後の目標を明確にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート（全員分）（マイク） 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人考えが違うんだな。 ・どのような行動・選択がいいか、もう一度考えてみよう。 ・今後は、こんなことに気を付けてみよう。 ・活かしたいことは何だろう。 *落ち着いた雰囲気を取り組ませる。

5：会場のセッティング

普通の授業形態

*最初は普通の授業隊形をお願いします。ただし、グループでの活動がメインになりますので、机、椅子は不要になります。（机、椅子は活動に影響がないようご配慮お願いいたします）班隊形（1グループ4～5人）で行う予定です。途中から班隊形になります。すぐに班になれるようにご指導お願いします。人間関係等で配慮が必要な場合はお知らせください。

*パワーポイントを使うので、プロジェクターやスクリーン（または大型テレビ）の設置が必要です。

6：使用する教材

パソコン、プロジェクター、スクリーン、スピーカー、画用紙、紐、（生徒の人数分）、プロッキー、養生テープ、マグネット、ワークシート、模造紙、水性マジック、フェアトレード商品、DVD（ザ・トゥルー・コスト ファストファッション 真の代償）

（*会場の広さや参加人数によってはマイクを使用）

7：参考にした資料

- ・「着飾る自分、質素な自分」鷺田清一. NHK「課外授業ようこそ先輩」制作グループ, KTC中央出版編. KTC中央出版, 2004 (課外授業ようこそ先輩:別冊)
- ・「ちぐはぐな身体 : ファッションって何?」鷺田清一著. 筑摩書房. 1995.
- ・「ちぐはぐな身体(からだ) : ファッションって何?」鷺田清一著. 筑摩書房. 2005.
- ・「ひとはなぜ服を着るのか」鷺田清一著. 筑摩書房. 2012.
- ・エシカルファッション=「良識を大切にしたファッション」「人と地球に優しいファッション」鎌田安里沙
<https://ameblo.jp/aritann-blog/> (2018.08.01アクセス)
- ・「ファストファッションの時代はもう終わり!?今後必ずくる『エシカルファッション』ってなに?」ハイポスト
https://www.huffingtonpost.jp/qreators-/ethical-fashion_b_8137156.html (2018.08.01アクセス)

8 : その他

- ・筆記用具を使用します。生徒に持たせるようにしてください。